

# 新宿区立漱石山房記念館

## 令和6年度年間スケジュール

《通常展》テーマ展示

### 『門』 —夏目漱石の参禅—

4月25日(木) ▶ 7月7日(日)

漱石は、明治27(1894)年の年末から翌年初めにかけて鎌倉円覚寺に参禅しましたが、悟りを得ることはできませんでした。この経験は、明治43(1910)年に発表された小説『門』に反映されています。参禅から130年、作品や後年雲水と交わした手紙をもとに、漱石と禅との係わりについて紹介します。



円覚寺 塔頭 帰源院山門

《通常展》テーマ展示

### 漱石山房記念館・ 初版本コレクション

7月11日(木) ▶ 10月6日(日)

漱石山房記念館が所蔵する夏目漱石の初版本を一挙公開します。初版本からは、自著の装丁に深い関心を持っていた漱石自身のこだわりを感じることができます。表紙や外箱の装丁、挿絵など、随所に漱石の思いが込められた初版本コレクションをご堪能ください。



のこだわりを感じることができます。表紙や外箱の装丁、挿絵など、随所に漱石の思いが込められた初版本コレクションをご堪能ください。

《特別展》

### 小宮豊隆生誕140年記念 『三四郎』の正体(仮)

10月12日(土) ▶ 12月15日(日)



東京帝国大学入学時の小宮豊隆(左上) みやこ町歴史民俗博物館蔵

夏目漱石『三四郎』のモデルとされる小宮豊隆は、明治17(1884)年福岡県仲津郡久富村(現京都府みやこ町)に生まれ、県立豊津中学校(現県立育徳館高等学校)を経て第一高等学校に進学しました。明治38(1905)年、東京帝国大学文学部独文科に入学し、漱石に保証人になってもらい、以後門下生として木曜会の常連となりました。小宮豊隆生誕140年を迎え、漱石と小宮との交流の軌跡、小宮の生涯と業績を各種の資料から探ります。

《通常展》

### 夏目漱石と漱石山房 其の二

令和7年

12月19日(木) ▶ 4月20日(日)



早稲田南町の書斎に於ける漱石

漱石山房記念館の所蔵資料の核となる「松岡・半藤家資料」をはじめとした、当館が有する代表的な資料を中心に「夏目漱石」と「漱石山房」をひもときます。また、学芸員一押しのごだわり資料や新収蔵資料も紹介します。

※「松岡・半藤家資料」…漱石の長女・筆子と漱石門下生の作家・松岡譲の娘で、当館名誉館長の半藤末利子氏から新宿区に寄贈された資料です。

### 主な 催し物

開催日時等、詳細は漱石山房記念館ウェブサイト、Oh!レガス新宿ニュースでご確認のうえ、お申し込みください。

- ◆九日会 …… 漱石の月命日(9日)に、門下生たちが漱石を偲んで集まったことにちなむイベントです。
  - ◆文学講座 …… 漱石の作品をより深く読み解く講座です。
  - ◆開館記念講演会 …… 9月24日の漱石山房記念館開館記念日にちなみ開催する講演会です。
  - ◆文学さんぽ …… 漱石ゆかりの場所や、作品にまつわる場所をめぐるまち歩きです。
  - ◆朗読会 …… 漱石の誕生日を記念した朗読会や、さまざまな団体と連携した漱石作品の朗読会です。
- この他にもさまざまなイベントを予定しています。

